

問題の意味を理解して

お菓子の箱が4つあります。1箱にはお菓子は5つずつ入っています。お菓子はみんなで何個になりますか。

という問題をみんなで考えました。

T:この問題はかけ算でできるかな? C:箱が4つあって、その箱にお菓子が5個ずつ入っているからかけ算でできる。 T:大切な言葉がたくさん出てきたね。箱が4つ。お菓子はひと箱に5個ずつ入っているだね。図、ことば、式を書いてやってみて下さい。

と、子ども達に投げかけて始まりました。案の定、子ども達のノートの中には、 $4 \times 5 = 20$ と $5 \times 4 = 20$ が出てきました。

C:お菓子の箱が4つあって、お菓子は5つずつだから、何個ずつのいくつ分だから 5×4 だと思います。4は前にこない。 C:合言葉がある。

C:何個ずつのいくつ分 T:もうちょっと説明して... C:A君は、最初に4が出てきたから 4×5 にしているけど、B君は、何個ずつのいくつ分だから、 5×4 にしている。 T:じゃあ、あなたはどっち?

C: 4×5 だと思う。(え〜っ、何で?) T:他の人もうちょっと説明できんかな〜。 C:一つ分の数が5こで、それが4つあるから 5×4 だと思います。 T:かけ算は、ひとつ分の数 \times いくつ分で、全部の数になるん(板書) C:5個ずつだから最初に5がくる。

T:最初から図に描いてみよう。 C:お皿の中にお菓子5個かいてみて...○を5つ書いていると、隣の子が数字の5を○の中に書く。(すると○を消して5と書き直した)

T: 4×5 の図と、 5×4 の図、どう違うか説明して... C:こっち(4×5)は、はこ箱の中の数が4で、それが5つあるけど、こっち(5×4)は、箱の中か5個ずつで、それが4つになっています。

T:4個ずつが5つ分なら、 4×5 だけど、この問題は、5個ずつが4つ分だから、 5×4 になります。答えは一緒だけど、意味がちがうよ。だから、文章をよく読んで、いくつずつのいくつ分をよく考えてください。

じゃあ、もう1問、先生問題をするよ。

5はこ入りのティシュペーパーが6こあります。ティシュペーパーは全部で何はこありますか?

九九を覚えてスラスラと言えることも大切ですが、文章問題になった時、問われていることの意味を理解して、「いくつずつのいくつ分」ということを捉えられることが大切です。今日は、そのことを理解する授業でした。これからいろいろな段の九九ができますが、その事の繰り返しです。

